

愛媛県におけるムシバミコガネグモの記録

原 有助^{1,2}・懸田 剛³・懸田大輝^{3,4}・村上 裕¹¹ 愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター² 愛媛大学農学部生物有機化学研究室³ 里山共生デザイン研究会⁴ 愛媛県立北条清新高等学校

写真 1 *Argiope aetheroides* ムシバミコガネグモ (BCEJ-Arthro 00055) . a. ♀背面側, b. 外雌器. スケールバー : a 1cm, b 0.5mm. 撮影 : 原 有助

種の記録

Araneidae コガネグモ科

Argiope aetheroides Yin et al., 1989

ムシバミコガネグモ (写真 1)

標本 愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター標本 (BCEJ-Arthro) 00055–00056. 9 vi 2026, 愛媛県喜多郡内子町大瀬南, 1 ♀ (亜成体), 体長 11.9 mm (20 vii 2026, 飼育後成体, 体長 15.8mm), 懸田剛・懸田大輝採集. 7 viii 2026, 愛媛県宇和島市津島町檳川, 1 ♀ (成体), 体長 13.8mm, 原 有助採集.

種の特徴

メスの体長 9.0–18.0mm 前後, 体は背甲が銀色の毛が密生し, 腹部上面は白色の地に横向きの黒色の線, 黒色の帯, 濃橙色の帯を有し, 濃色の帯には白斑があるほか, 非常に良く似た体躯のコガタコガネグ

モ *Argiope minuta* と異なり, 外雌器前方に平らな部分がない. 以上の特徴が一致したことから標本個体を本種と同定した (新海, 2006; 谷川, 2007).

備考

本種は国内では本州, 青ヶ島, 四国, 九州, 薩南諸島に分布することが知られている (新海, 1977, 2006; 谷川, 2007). 四国では高知県および徳島県で確認されており (中平, 1954; 真鍋・坂東, 1987), 愛媛県からは知られていなかった (鶴崎ほか, 2011). 今回, 内子町の湿地帯ビオトープ横の林縁および宇和島市の里山にある建物の軒下といったやや薄暗い場所に営巣している個体を確認したため, 県内初記録として報告する. この 2 個体は, いずれも人が近づくと巣から迅速に飛び降りる行動が見られた.

謝辞

本報作成にあたり, 同定ならびにご助言頂いた鳥取大学名誉教授鶴崎展巨博士, 投稿を勧めて頂いた愛媛県立衛生環境研究所生物多様性センター中野賢次長, 同センター松岡基憲主任技師にこの場を借りて厚く御礼申し上げます.

引用文献

- 中平 清. 1954. 四国高知県のクモ. ATYPUS, (7):28.
真鍋佳資・坂東治男. 1987. 海部町の真正クモ類. 郷土研究発表会紀要第33号. 阿波学会. 徳島県立図書館 (<https://library.bunmori.tokushima.jp/digital/webkiyou/33/3313.html>, 2026年9月5日参照)
新海栄一. 1977. 東京都産真正蜘蛛類Ⅲ. ACTA ARACHNOLOGICA, (27):321–336.
新海栄一. 2006. 日本のクモ. 文一総合出版, 東京. 336pp.
谷川明男. 2007. 日本産コガネグモ科ジョロウグモ科アシナガグモ科のクモ類同定の手引き. 日本蜘蛛学会, 大阪. 122pp.
鶴崎展巨・石川春子・井原 庸. 2011. 愛媛県のクモ類. 愛媛県立総合科学博物館研究報告, (16):33–57.
(2026年9月11日受付, 2026年9月24日公開)

連絡先: 原 有助 (e-mail: hara-yusuke@pref.ehime.lg.jp)
(Yusuke Hara, Tsuyoshi Kakeda, Hiroki Kakeda and Hiroshi Murakami. 2026. *Argiope aetheroides* (Araneae: Araneidae) newly recorded from Ehime prefecture, Japan. NS Fieldnote, 26026)